

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2011-19934(P2011-19934A)

【公開日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【年通号数】公開・登録公報2011-005

【出願番号】特願2010-216852(P2010-216852)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々を識別可能な複数種類の識別情報を可変表示可能な可変表示手段を備え、あらかじめ定められている可変表示の実行条件が成立した後、可変表示の開始条件の成立にもとづいて前記可変表示の実行条件が成立した順番に従って複数種類の識別情報の可変表示を開始し、当該複数種類の識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御可能となる遊技機であって、

遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

前記遊技制御手段からの制御情報に応じて、遊技の演出を制御する演出制御手段と、

前記可変表示の実行条件が成立したが前記開始条件が成立していない可変表示である保留可変表示の各々に対応して定められ、前記保留可変表示が開始される順番を表示位置により識別可能な保留表示を行う保留表示手段とを備え、

前記遊技制御手段は、

可変表示の実行条件の成立時に、可変表示の表示結果を前記特定表示結果とするか否かを判定する実行条件成立時判定手段と、

該実行条件成立時判定手段による判定結果を示す判定結果制御情報を前記演出制御手段に送信する判定結果制御情報送信手段と、

可変表示の実行条件の成立時および可変表示の開始条件の成立時に送信される制御情報であって前記保留可変表示の数を示す保留数制御情報を前記演出制御手段に送信する保留数制御情報送信手段とを含み、

前記保留表示手段は、受信した前記保留数制御情報で特定される数の保留表示を行い、

前記演出制御手段は、可変表示の表示結果を前記特定表示結果とするか否かを示す前記判定結果制御情報を受信したときに、保留表示を所定の態様に変化させるか否か決定する保留予告決定手段を含み、

前記保留数制御情報送信手段および前記判定結果制御情報送信手段は、可変表示の実行条件の成立による前記保留数制御情報と前記判定結果制御情報とを、それらの情報の送信間で他の情報が送信されることを防止しつつ前記演出制御手段に送信する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0012**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0012】**

本発明による遊技機は、各々を識別可能な複数種類の識別情報（例えば特別図柄）を可変表示可能な可変表示手段（例えば可変表示装置9）を備え、あらかじめ定められている可変表示の実行条件（例えば、遊技領域に設けられた始動入賞領域への入賞）が成立した後、可変表示の開始条件（例えば、前回の特別図柄の可変表示および大当たり遊技状態の終了）の成立にもとづいて可変表示の実行条件が成立した順番に従って複数種類の識別情報の可変表示を開始し、当該複数種類の識別情報の可変表示の表示結果が特定表示結果（例えば左中右図柄が同一の図柄）となったときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能となる遊技機であって、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば遊技制御用マイクロコンピュータ）と、遊技制御手段からの制御情報（例えば演出制御コマンド）に応じて、遊技の演出（例えば可変表示装置9による画像表示やスピーカによる音声出力など）を制御する演出制御手段（例えば演出制御用マイクロコンピュータ）と、可変表示の実行条件が成立したが開始条件が成立していない可変表示である保留可変表示（例えば未だ可変表示が開始されていない始動入賞記憶（保留記憶）にもとづく将来実行される可変表示）の各々に対応して定められ、保留可変表示が開始される順番を表示位置により識別可能な保留表示（例えば図19または図20に示すように可変表示が開始される順番に左から並べられた始動入賞記憶の表示）を行う保留表示手段（例えば可変表示装置9に設けられた始動記憶表示エリア18）とを備え、遊技制御手段は、可変表示の実行条件の成立時に、可変表示の表示結果を特定表示結果とするか否かを判定する実行条件成立時判定手段（例えば入賞時判定手段S6BのうちステップS123～S125, S132, S133を実行する部分）と、該実行条件成立時判定手段による判定結果を示す判定結果制御情報（例えば始動入賞時における判定結果を指定する演出制御コマンド）を演出制御手段に送信する判定結果制御情報送信手段（例えばコマンド送信手段S6EのうちステップS164, S165を実行する部分）と、可変表示の実行条件の成立時および可変表示の開始条件の成立時に送信される制御情報であって保留可変表示の数（例えば始動入賞記憶数）を示す保留数制御情報（例えば始動入賞記憶数を指定する演出制御コマンド）を演出制御手段に送信する保留数制御情報送信手段（例えばコマンド送信手段S6EのうちステップS162, S163, S168, S169を実行する部分）とを含み、保留表示手段は、受信した保留数制御情報で特定される数の保留表示を行い、演出制御手段は、可変表示の表示結果を特定表示結果とすることを示す判定結果制御情報を受信したときに、保留表示を所定の態様に変化させるか否か決定する保留予告決定手段を含み、保留数制御情報送信手段および判定結果制御情報送信手段は、可変表示の実行条件の成立による保留数制御情報と判定結果制御情報とを、それらの情報の送信間で他の情報が送信されることを防止しつつ演出制御手段に送信することを特徴とする。

【手続補正3】**【補正対象書類名】**明細書**【補正対象項目名】**0016**【補正方法】**変更**【補正の内容】****【0016】**

請求項1記載の発明では、遊技機を、遊技制御手段が、可変表示の実行条件の成立時に、可変表示の表示結果を特定表示結果とするか否かを判定する実行条件成立時判定手段と、実行条件成立時判定手段による判定結果を示す判定結果制御情報を演出制御手段に送信する判定結果制御情報送信手段と、可変表示の実行条件の成立時および可変表示の開始条件の成立時に送信される制御情報であって保留可変表示の数を示す保留数制御情報を演出

制御手段に送信する保留数制御情報送信手段とを含み、保留表示手段は、受信した保留数制御情報で特定される数の保留表示を行い、演出制御手段は、可変表示の表示結果を特定表示結果とすることを示す判定結果制御情報を受信したときに、保留表示を所定の態様に変化させるか否か決定する保留予告決定手段を含み、保留数制御情報送信手段および判定結果制御情報送信手段は、可変表示の実行条件の成立による保留数制御情報と判定結果制御情報を、それらの情報の送信間で他の情報が送信されることを防止しつつ演出制御手段に送信する構成としたので、特定遊技状態の発生を予告する表示態様の保留表示と実際に特定遊技状態になると事前に判定された保留表示との間にずれが生じるのを確実に回避することができる。